



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

2020年7月1日

国立大学法人 山梨大学

2020年度事業計画：水害に強いまちづくり（継続）

【事業の概要】

- (1) 水害に強い甲府盆地推進研究会の開催（5回程度）
- (2) 50年後の水害に強い甲府盆地（自然ミュージアム）の具体化
- (3) ハードでは、小河川・農業用水路のグリーンインフラ化、人工地盤の耐震性評価
- (4) ソフトでは、開発段階で変化する避難形態、緑と水の活用、条例化に向けた検討
- (5) 成果の公開

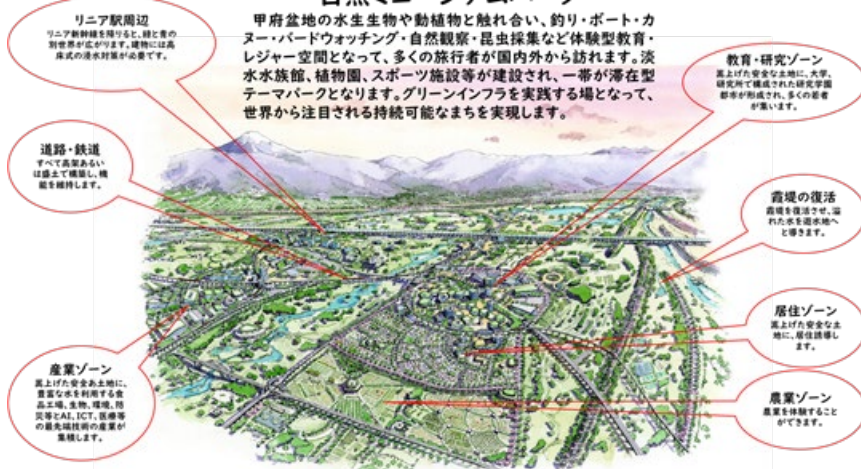
【役割分担】

- (1) 山梨大学は研究会、シンポジウムを企画、実施する。
- (2) 国土交通省は研究会に参加し、国土交通省の立場で研究会の運営に協力する。
- (3) 山梨県は研究会に参加し、山梨県の立場で研究会の運営に協力する。
- (4) 県内市町村（市町村長を含む）：研究会への参加。
- (5) 各種協会、民間企業：昨年の枠を超えて参加希望を募る。

甲府盆地南部一帯を遊水地として機能させます

自然ミュージアムパーク

甲府盆地の水生生物や動植物と触れ合い、釣り・ボート・カヌー・バードウォッチング・自然観察・昆虫採集など体験型教育・レジャー空間となつて、多くの旅行者が国内外から訪れます。淡水水族館、植物園、スポーツ施設等が建設され、一帯が滞在型テーマパークとなります。グリーンインフラを实践する場となつて、世界から注目される持続可能なまちを実現します。



2019年度成果（水害に強い甲府盆地のイメージパース）